

今年、新たな
事業を始めます!

農業体験型農園

はっぴーガーデン
“葉っぴーgarden” 開園

はっぴーガーデン
“葉っぴーgarden”とは



2019年3月24日(日)開園



気軽に♪手ぶらで♪
農業体験
開園します!
体験参加者募集スタート
詳しくはここをクリック!

はっぴーガーデン “葉っぴーgarden”とは



2019年3月24日(日)開園

誰でも気軽に手ぶらで農業が楽しめる指導付の農園です。

園主である野菜 づくりのプロが 栽培をサポート

農作物を育てるのが初めての方、家族で農作業を体験してみたい方、運動不足を楽しく解消したい方、プロからノウハウを教わりたい方、気軽に農業をはじめてみませんか？

手ぶらで来園 OK

- ・必要な種苗・肥料や農機具等は全て園主が準備します。
- ・汚れてもいい服装でご参加ください。
- ・ご家族・ご友人同士複数人での利用も可能です。

新鮮な野菜を 食卓に！

- ・自分の区画で作った野菜は、全て持ち帰ることができます。
- ・自分で作った味わい最高の新鮮野菜！
- ・農業で健康に！



募集要項

- 農園名 葉っぴーgarden 新保本
場 所 金沢市新保本二丁目
JA金沢市押野支店から徒歩圏内
1. 区画数 20区画
 2. 面積 20㎡/区画
- ※春・夏それぞれ5品目を作付します。
3. 利用料 45,000円/年間

参加説明会

開園にあたり、参加ご希望者向けの説明会（2019年3月9日）を開催致します。ご希望される方は、説明をお聞きいただき、利用されるかご判断ください。

説明会への参加申込みは、

JA金沢市資産相談課（Tel 237-3954）まで、ご連絡下さい。

地元紙にも

掲載されました

市街地に 体験型農園

体験型農園の手定地で打ち合わせるJA金沢市の関係者
— 金沢市新保本2丁目



JA金沢市は3月、市街化区域にある新保本2丁目の水田で、農家が有償で利用者に作付けから収穫まで指導する体験型農園を開設する。石川県内17JAで初めての取り組みで、営農に必要な種苗や肥料、農具は農家が準備し、利用者は気軽に野菜作りに臨める。狭くて収益を上げにくい農地を有効に活用して農家の所得向上を図りながら、新規就農者の育成につなげる。

JA金沢市、栽培を指導

同JA組合員の武藤昌弘さん(61)が広さ2004平方メートルの水田を提供し、20区画(1区画20平方メートル)の体験型農園「菜っぴー garden(ハッピーガーデン)」を整備する。園内には同JAの協力で、農具を保管するハウスや通路なども設けられる。

初年度は春にナスやトマトなど4種類、秋はキャベツやブロッコリーなど5種類を栽培する計画だ。一般的な市民農園と違い、同JAが作付け計画を作成

し、利用者はこれに沿って野菜を栽培する。

同JAによると、区画整理によって造成された市街化区域の農地は概して狭く、収益性が低い。1区画当たり年4万5千円の体験型農園の利用料は、農家の収入となり、農業で得られる収入を上回る所得が見込めるという。

JAグループは2016年、都市部の農地維持と農業振興に向けた基本的な考え方をまと

め、全国の各JAは「農ある暮らしを気軽に楽しむ社会」の実現を目指して体験型農園の整備を進めている。この試みは既に東京都や岐阜県、静岡県などのJAでスタートしている。

同JAは今後、体験型農園の利用者を募集する。利用者への栽培講習会や、農家と利用者の交流イベントなども企画する予定だ。武藤さんは「市民が農業に理解を深める良い機会なので精いっぱい教えたい」と話し、同JAの担当者は「幅広い年代に参加してもらい、農業の地域コミュニティにしたい」と語った。

狭い農地活用、新規就農促す